



# 県相同窓会

第28号

発行  
県立相模原高校同窓会  
http://kensou.info/  
相模原市中央区横山1-7-20  
郵便振替0028-0-22895  
発行責任者 佐藤 功岳  
編集責任者 細谷 孝司

## 同窓会五十周年にご協力を

会長 佐藤 功岳 (二期)



昭和三十一年十一月一日  
神奈川県立相模原高等学校  
は賑々の声を挙げました。  
以来星霜を数えること五十  
十、母校創立五十周年誠に  
めでとございます。  
私も一期生が入学いた  
しましたのは、翌年の四月  
でございます。  
ご承知のように昭和三十  
九年は日本にとって覚醒の  
記念となる年でございます  
た。東京を舞台にオリ

昭和三十一年十一月一日  
神奈川県立相模原高等学校  
は賑々の声を挙げました。  
以来星霜を数えること五十  
十、母校創立五十周年誠に  
めでとございます。  
私も一期生が入学いた  
しましたのは、翌年の四月  
でございます。  
ご承知のように昭和三十  
九年は日本にとって覚醒の  
記念となる年でございます  
た。東京を舞台にオリ

## 創立五十周年を迎えて

校長 南 敏章



本校は創立五十周年の年  
を迎えました。高校での学  
びの主役が生徒であること  
を考えると、創立五十周年  
は県相の歩みであると同時に  
同窓会の歩みそのものである  
と思われまふ。本年十一  
月一日の記念式典、祝賀  
会を同窓会の皆様と一緒に  
祝うことが出来たことは  
大変な光栄であると考え  
ております。

昨年年度本同窓会誌にてお  
願ひ致しました「創立五十  
周年記念事業（和式便器の  
洋式化）」への協力につ  
きましては、同窓会諸兄弟  
の皆様よりの多大なご厚志  
をいただき誠にありがと

でございます。おかげさまで  
もちまして、第一期工事と  
して校内十カ所の和式便器  
の洋式化がすでに完了し、  
活用させていただいており  
ます。生徒からも好評の声  
が届いております。ご報告  
申し上げます。予算等  
に多少余裕があるため引  
き続き第二期工事を計画し  
ております。厚くお願いし  
ております。同窓会、同窓  
会の皆様には引き続き今年  
度も創立五十周年記念事業  
へのご協力を賜りたくお願  
い申し上げます。  
今年度進路実績につきま  
しては進路先により多少の  
ばらつきがありますが、お  
おむね順調な結果を残すこ  
とが出来ました。特筆すべ  
きは国立公立大学合格者が現  
浪併せて六十一名となり、  
本校が掲げている理系・文  
系を問わず、国立・私立学  
校を問わず五教科を大切にす

る精神が生徒に浸透してい  
る証左と考えております。  
これも本校の持つ伝統の力  
と考えられるのではないで  
しょうか。  
文武両道の他方の柱であ  
る部活動についても生徒諸  
君は大いに成果を上げてお  
ります。水泳部のインター  
ハイ出場、マンドリン部の  
全国大会出場、水泳部、陸  
上競技部の関東大会への出  
場、卓球部の県大会ベスト  
8等々活躍しております。  
これら一つ一つが連続と  
し、先輩から後輩への一継  
承の一ページであると思  
えております。本年の創立  
五十周年がこれまで共に歩  
んできた母校と同窓会、  
そしてこれから同窓会、  
〇〇周年に向かっても共に歩  
む記念碑となりますよう祈  
っております。

## 第36回 定期総会のご案内

平成26年度総会を下記のとおり開催  
いたしますのでご出席ください。  
日時 平成26年5月18日(日)  
午後4時から  
会場 県立相模原高校 会議室  
議題 平成25年度事業報告及び収支決  
算報告の件、他  
※定期総会終了後に懇親会を行います。  
総会に出席される方は5月2日(金)まで  
に、細谷まで御連絡ください。  
TEL・FAX 042 (752) 0171

## この機会に同窓会・クラス会を 開催しましょう

県相同窓会では  
ホームページを作成しており、活動内容をお知らせ  
しております。エフエムさがみの収録内容  
をホームページで聞くことができます。  
クラス会・学年同窓会等でもお気軽にご連絡  
ください。  
<http://kensou.info/> 検索

## 『GO!GO! 県相シーズンV』



今年も、「エフエムさがみ」にご協力いた  
だき、横田先生・相浦先生・佐野先生他  
1期生の先輩方にご出演いただき、11月2日  
に第1回放送にて懐かしいお話とともに  
県相のPRを行いました。

【今後の放送予定】  
平成26年3月(第5回)まで、  
毎月第1土曜日の朝10時30分～11時  
再放送は、翌日曜日の夜10時30分～11時  
出演はOB・OGの他、昨年に引き続き  
現役県相生や先生方もゲストに迎え、元気に  
頑張っている様子もお伝えする予定です。  
ぜひ皆様でお聞きください!

## 母校の創立50周年記念事業への協力について

県相は平成25年10月に創立50周年を迎えました。これを記念して同窓会では  
昨年度から次のような記念整備事業に協力しております。

### 創立50周年記念整備事業（和式便器の洋式化）の募金に、 今年度も引き続きご協力をお願いします！

～記念整備事業の募金のお願ひ～

多くの学校で生徒から和式便器の洋式化が望まれています。県相でも毎年生徒総会での要望としてこのことがあがってきますが、県予算が厳しい折、要望書を出しても予算が付かず改修が実現しません。そこで同窓会から寄附を集め、そのお金を県に寄附すると、県で工事を行う方式が平成21年度に制度化されました。(まなびや基金)  
創立50周年を機に、生使用トイレに洋式便器を設置したいと考え、記念整備事業として、平成25年夏に10箇所改修を行い、今年度更に4箇所改修を行う予定ですが、まだ目標の20箇所に達しないため、同窓生・ご家族の皆様引き続きご支援をお願いする次第です。  
この寄附金活用の大まかな仕組み 同窓生から寄附金を募る→名簿を付けて「神奈川県まなびや基金」に寄付→県より納付書受領、領収書を寄附者に送付(税金控除用)→工事着工→完成というものです。

### 改修計画

- ・A・B・C棟男女トイレの各1～2箇所、和式便器の洋式化を行う。 ・費用概算は1箇所約25万円
- ・目標として2ヶ年計画で20箇所の改修を行う。(単年度250万円以内の工事とすると学校裁量で発注できるため)
- ・改修時期は夏休みを予定

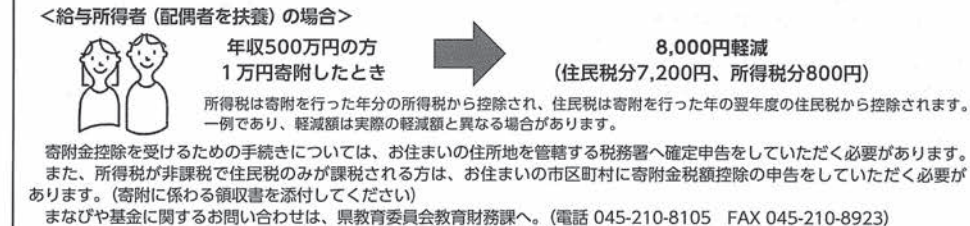
### 募金計画

- ・目標額 500万円 ・募金期間 平成24年12月～平成26年3月 ・募金口数 1口10,000円(口数の上限無し)
  - ・振替口座 ゆうちょ銀行 00210-1-50323 相模原高校創立50周年記念事業実行委員会(振替料は払込人負担)
- 協力いただける方は郵便局備え付けの用紙で振込みをお願いします。  
通信欄に卒業年・クラス・税控除用領収書に記載する法人名又はお名前をご記入ください。

### 税法上の控除等

個人の方は、確定申告により所得税及び住民税の寄附金控除の対象となります。確定申告をされない方も、「ふるさと納税制度」寄附金税額控除の対象となります。  
法人の方は、寄附された金額が損金算入の対象となります。

### ふるさと寄附金の税額の控除額(軽減額)例(総務省ホームページより引用)



### 平成25年度整備事業経過報告

1. 事業内容 生使用トイレを洋式便器に改修
  2. 募金状況 募金額 277万3千円(169人寄附)(平成25年7月20日現在)
  3. 工事実施状況 1期工事
    - ・工事箇所: 10箇所
    - ・工 期: 平成25年7月30日～8月7日
    - ・工 事 費: 167万7千円2期工事(予定)
    - ・工事箇所: 4箇所
    - ・工 期: 平成25年12月～26年1月
    - ・工 事 費: 95万円
- 11月1日開催された創立50周年記念  
式典において、会長より記念整備事業の  
目録を校長先生にお渡ししました。  
「目録1 トイレ洋式化改修工事一式 右、創立50周  
年記念整備事業として同窓会より寄附いたします。  
平成25年11月1日」  
神奈川県立相模原高等学校長 殿  
同窓会会長 佐藤 功岳



### 恩師に感謝しながら

平成二十一年十一月、県立上溝高等学校長に就任してから、はや四年が過ぎました。他の高校や小中学校で校長や副校長、教頭として勤務されていた同窓生、教員として活躍されている同窓生は数知れず、県相生が神奈川の教育に尽力する時代になったと実感しています。

県相時代、私の担任は長田敬幸先生、私田充夫先生で、長田先生の地理の試験問題が全文英語、倫理の試験問題が全文漢文で出題された時、また、吉田先生が授業直後の休み時間に古典の小テストの追試を開始された時などは驚きまじりです。これに加えて英語の江口先生、世界史の佐野先生、数学の清水昭生先生、高校の授業は怖いと(失礼ながら)思いました。漢口先生、横山先生、豊先生、まだまだ多くの先生方のお顔を鮮明に記憶しています。



齊藤 一美 (8期)

### 将来を担う若者達とともに

県相卒業生の皆様、はじめまして、もしくはお久しぶりです。1988年3月に卒業した(23期)好田正と申します。この度は、「卒業生を訪ねて」ということで同窓会新聞に近況をご報告させていただくことが出来て大変うれしく思っております。

私が高校を卒業してから早いものでもう四半世紀が過ぎようとしています。在学時はお世辞にも優秀な生徒とは言えず、部活動と日々の授業だけで精一杯で、それ以上のことに目を向ける余裕がありませんでした。今思えば、貴重な青春時代を過ごしたことに感謝しています。



好田 正 (23期)

春時代の3年間だったのですが、好奇心をもっともっているいろいろなことにチャレンジすれば良かったと反省しています。

高校卒業後は1年の浪人生活を経験した後、理系の大学に進学して研究の楽しさに目覚めました。世界中の誰も知らないことを自分の力で知ることができ、さらにそれを社会の役に立てることができると、そんな日常を仕事にすることができたらどんなに幸せだろうかと思えるようになりました。大学院に進学いたしました。その後は、現在所属している東京農工大学農学部教員

先生方は、生徒時代には「齊藤」卒業後には「齊藤君」職員になってお呼びになられました。成長とともに先生方の眼差しがありました。上溝南高校勤務時代、吉田充夫先生と同じ教科担当として一緒に働いたことは私の宝です。

上溝高校は創立百一年の県下有数の伝統校です。歴代校長として、県相教頭を務められた山口卓良先生、教務主任でいらした藤崎榮治先生のお写真がありました。時に上高は新校舎建設となり、一橋大、慶応、早稲田、上智などに合格し始め、一方、大学に国家官僚試験に合格するなど、再び躍進の時を迎えています。しっかりとした教育観と実践力をもつて、母校県相に負けない学校を再創出する。これが私の使命だと思っております。

県立上溝高等学校校長

として赴任しました。近年、若者の理系離れや学力の低下が叫ばれていますが、理系の大学に勤めておられます。そんなことは全く感じることが無く、入学してくる学生達は皆、大きな興味と将来の展望を持って来られています。実際、今夏に私の所属する学科が開催したオープンキャンパスには中高生とその親御さんを含めて、たった1日で1500名を超える参加者がありました。手前味噌ではありますが、私も、大学の学生達は非常に優秀で、目的意識も高く、そのような若者や日々研究や勉強ができる環境にとても生き甲斐を感じています。学生さんの中には県相卒業生も少なくなく、母校の後輩達と一緒に学べることも大きな喜びです。彼らを世の中で活躍できる人材へと育成し、一緒に進んでいくことが私の使命であると考えております。

東京農工大学 大学院農学研究院准教授

## 卒業生を訪ねて

### 店づくり 街づくり 人づくり

私は現在、橋本駅北口に「カフェたつ」を営んでいます。高校時代は飲食店をやると考えても無かったのですが、この名付けたのは、無償貸付ではなにかの温かみのある店にしたいからです。

なるべく安心な食材を使ったり、地元産の酒やオーガニックワインを出したり。その中でもスタッフに關してはやはり一番重要だと思っております。お客様が楽しく癒されて帰って頂くには、スタッフの力が必須です。

振り返れば高校、大学、社会人時代、自分が一番ツライのは、人に恵まれていたことです。そこにつまみ、友人、仲間、先輩、様々な人との出会いが今の自分をつくっています。だからこそ、人とのつながりを大切にしたい店づくり、会社づくりをしていけたらと思います。また、そのうらやまを、おかげ様で成長した自分の経験、次の若い世代へ伝えていければいいと思っています。

私は飲食店をしています。街の魅力をその店の店が持つと、極端なことをいえば、その店の魅力は、その店の人がつくります。人の魅力が街の魅力になります。そんな素養を街づくりに少しだけでも貢献できればと思っています。おかげ様でこの秋10月末には、同じ橋本から自然派ワイン「ナブ」に自然派ワイン「ナブ」に自然派ワイン「ナブ」です。最後は宣伝になってしまいましたが、これを機に、来店下さい。(笑)



永田 友浩 (26期)

### 私に根づく県相の心

3年間、野球部に所属していましたが、入学した際に杉崎先生、阿川先生が担任され、「打倒 私学」強いチームを作る」と燃えていました。私は、そこまですごい気持ちで入部したわけではありましたが、いつからか先生方に感化され、練習に没頭する日々になりました。オフなどはなく、毎日怒られてばかり。でもこの時苦しい思いをしたので、今ではどんなことでも「ええ、いい」と思えます。先生方を慕い、先輩、後輩が集まり、忘年会(毎年70、80名)を開いていました。この縦や横のつながりは同じブランドで汗を流したからこそだと思われ、私にとってかけがえのない仲間です。

大学卒業後、事務機メーカーに就職し営業職に従事していましたが、3年目の春にソフトボールチームを指導してくれと依頼があり退職するまでの4年間教えていました。小生に指導する中で、教えることの楽しさ、成長を間近で見ることのできる喜びを思い出しました。

大学時代に目指していた30歳になる時、こで教員を目指さなければ後悔する」と考え、思い切って退職しました。09年4月に正式採用され、現在は港北区の県立新羽高校で教諭(理科)として働いています。

念願の高校野球の監督になりました。なかなかうまくいきませんが、勝つための情熱をもって頑張っています。選手との反感を買い練習試合をボ



小野 貴史 (30期)

### 県相同窓会活動維持費(1,000円以上)納入のお願い

同窓会の活動費(新聞の発行等)は、毎年、卒業生からの入会金や同窓生からの活動維持費(昨年度から会費と寄附を活動維持費として一本化しました)により賄われています。会員数の増加により、新聞の発送に伴う郵便料金等の経費が増加しています。現在、同窓会の運営が非常に困難になっておりますので、「活動維持費 1,000円以上」の納入のご協力をぜひお願いいたします。私たちの大切な母校・県相を誇る同窓会を卒業生の皆さんの温かい気持ちで助けてください。今まで、寄附していただいている同窓生につきましては、活動維持費と名称が変更しましたが、引き続きのご支援をよろしくお願いたします。この新聞に同封されている振込用紙を手に郵便局で納入をお願いいたします。

**広告掲載募集のお知らせ**

現在、県相同窓会活動予算は、毎年の卒業生からの入会金と、活動維持費に依存しており、非常に厳しいのが現状です。そこで、恐縮ですが皆さんに広告をお願いする次第です。何卒よろしくお願いたします。

連絡先 門倉 和博(7期)  
〒252-0144 相模原市緑区東橋本1-14-18  
門倉税理士 TEL 042-775-6762 広告料 1万円  
事務所 FAX 042-775-6763

**お世話になってます**

新聞の記事提供等同窓会活動については、南校長先生、米山副校長先生、安西先生はじめ、現職の多くの先生方及び事務の方々に大変お世話になっております。誠にありがとうございます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

<p>旗・幕・のぼり・祭用品</p> <p>有限会社 東京サービス</p> <p><b>あかつき旗店</b></p> <p>代表取締役 佐藤 剛生 (3期生)</p> <p>相模原市中央区星が丘1-3-15(市役所通り)</p> <p>TEL 042-751-0345 FAX 042-751-0346</p>	<p>注文住宅・リフォーム・売買・賃貸・管理・不動産全般相談</p> <p><b>S 経ソファ住販</b></p> <p>不動産業-神奈川県知事(6)第18309号 建設業-神奈川県知事(特)第63749号 2級建築士事務所 特別印刷用登録第0667号</p> <p>古賀 康弘 (29期生)</p> <p>(宅地建物取引主任者・2級建築士)</p> <p>〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺4-4-11</p> <p>TEL 042(776)2491(代) FAX 042(776)2475</p> <p>携帯電話 090(8878)9990 E-mail:sotofia-j@com.home.ne.jp</p>	<p><b>Sweet eggs</b></p> <p>新装開店した売店(Sweet eggs)で、新鮮な卵やお野菜、シュークリームなどの美味しいスイーツを販売しています。カフェにて、モーニングランチもご用意して、お待ちしております。</p> <p>有限会社 小川フェニックス</p> <p>小川 洪太 (1期生)</p> <p>〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台5-14-39</p> <p>TEL 042(742)6621 FAX 042(741)7377</p>	<p><b>ほけんのエイト</b></p> <p>営業時間 平日 9:00-18:00 (土日、祝祭日は休業)</p> <p>E-mail info@8-ins.com</p> <p>ホームページ http://www.8-ins.com</p> <p><b>eight corporation</b></p> <p>小林 春仁 (1期生)</p> <p>〒252-0231 相模原市中央区相模原4-2-9 第2相模原ビル2F</p> <p>TEL 042(758)4451 FAX 042(758)9121</p>
---	---	--	--



### 関東大会・全国高校総体・国体出場(水泳部)

6月16、22、23日の3日間、関東高校総体水泳競技大会、関東大会予選が地元「さがみはらグリーンプール」で開催され、3年F組の佐保光祐選手が、200m自由形1分54秒7、400m自由形4分04秒10で両種目とも2位に入賞。昨年引き続き関東大会の出場権を獲得しました。本人は優勝を狙っていたということですが、悔しさもぞかせましたが、最後の県総体で自己ベストを更新しての表彰台。その顔はとて晴れやかでした。

関東大会は、7月22日、埼玉県川口市で開催されました。評判が悪くないプールながら屋外ということで、室内プールに慣れている神奈川の選手にとっては少々気温や日差しが気になるというところですが、昨年関東大会でタイムが上がりず敗れた悔しさをバネに、インターハイ入賞を目指して1年間練習を積み重ねてきた佐保選手にとって、こいで負けるわけはいかない！と、強い心と持ち前の集中力が力を産み、



インターハイに出場した佐保光祐君

種目とも関東大会よりタイムを伸ばすことができずに終わってしまいました。入賞を目指した佐保選手にとっては悔しい結果となり、また一歩前進は1階級を上り、いろいろなことを犠牲にしながら目標に向かって努力し続けてきたことは、彼を競技力のみならず、人間的にも大きく成長させたことだと思います。

佐保選手は、8月17日、20日、連日気温が35度を超える長崎県長崎市で開催された、常連校が応援を埋め尽くし会場は異様な熱気に包まれた中、17日に400m、18日に200mに

今年度は2年F組の根本健二君が、男子円盤投げに優って6位入賞者に与えられた。この記録は自己新記録であり大きな大会で好結果を残すことができた。

根本君は中学時代は野球部に所属し外野手として活躍していた選手でありましたが、縁あって相模原高校陸上競技部に加入していき、入部当初は大変に華奢な体格で当初は競技者としての心配が足りませんでした。しかし、歴代の先輩と同様に日々の鍛錬により少しずつ体が大きくなり、専門に行っている円盤投げにおいても距離を伸ばしていきまし。しかし、身長が174cmの体は円盤大会で細く目立たないほどでさらなる筋力アップを目指しました。そして、1年生の10月頃だったと思いま

すが、ウエイトトレーニングでベンチプレスとそのような最大重量は80kgでした。そこで、チームメイトの佐伯君と二人今年中に100kgを挙げようという目標を立て、2か月間必死で練習を取り組んでいました。その結果12月最後の練習日に二人とも見事に100kgを挙げることができました。私は長年高校生を指導していますが、1年生の12月にベンチプレスで100kgを挙げた選手は初めてでした。また、や、体の細い根本君がここまで頑張れるということが素晴らしい事です。高校生を超えられる力があることを教えられました。さらに練習はハードになりました。120kgを挙げることができました。その筋力アップした体と技術が向上し関東大会に出場することができました。努力は無限です！



円盤投げの練習をする根本健二君

### 南関東大会に出場して(陸上競技部)

関東大会では各県から6名代表が集まり、24名で試合を行い6位までの選手に全国大会の出場権が与えられます。ランキングでは12位で、全国大会出場をめざし頑張りましたが自己記録を更新することができず予選敗退してしまいました。この悔しさをバネに来年は6位入賞し全国大会に出場できるように頑張りたいと思います。そして来年の春先には140kgを挙げたいと思います！最後になりますが、同窓会からはいつも援助していただき本当に感謝していただきます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。陸上競技部 顧問 二宮 祥浩

### 相翼祭 体育部門・文化部門

本年度、我が相模原高等学校は創立50周年を迎える節目の年ということで「あるたと相模の金婚式」を開催し100周年の50年前記念「I」をメインテーマに掲げ、生徒、職員ともに例年にも増して強い思いを持ち相翼祭に臨んでいるように感じられました。体育部門はあじくくの悪天候にもかかわらず807名の同窓生や関係者の皆さまにご来校頂きました。文化部門も天気にはあまり恵まれなかったのですが、2日間3、2、27名の来場者がありました。県相がいかに関心や保護者、地域の方々に愛されているのかを実感する相翼祭となりました。同窓生の方々はどんな相翼祭の思い出が浮かんでいるでしょうか。

本年度の体育部門は悪天候続きの週に当たり実施が危ぶまれていました。わずかながら可能性が残って

た6月11日、早朝からの雨のため「中止か」という私の不安を取り除いてくれたのは、団長達の「やらせてください。」の一言でした。実施のアナウンスが流れるとすぐに3年生を中心に大きな声を出しながら雨にも負けず、グラウンドに走り出していき姿に開会前にも関わらず感動を覚えました。思い起こせば昨年度の3月19日に行われた準備結団式。あの時の不安はいっぱいの団長達の姿はそこにはありませんでした。閉会式ではSSC体育祭企画長へ向けて各組の代表者からパフォーマンスのプレゼントがありました。企画長が何度も何度も繰り返して「ありがとう」という言葉はグラウンドにいた全ての人が届いたことと思います。

室の中は、大きな声飛び交い、喧嘩が起ころうとした空気感でした。しかし、みんなが一杯一杯になっていく状況でも、1人も途中で投げ出すことなく作業し、協力し、助け合っていた姿はとて素晴らしいと思われました。

また、翌日の片づけでは綺麗に着飾った黒相の校舎が一瞬のうちに元通りになっていき、少し寂しさを感ずりました。生徒達にはすぐに切り替えるよう指示していましたが、私自身も1番切替えていたのは私だったのかもしれない。

文化部門の他の結果は模範店では各クラスが何度か企画書を書き直し、レビューを考慮、調理の練習を行い、と衝突を繰り返しながら本番を迎えられました。入会準備がすすんでい



デコレーション部門で優勝した秋組



柴胡ヶ原大賞を受賞した2年D組アカDミー賞受賞式

今後、この相翼祭をより良いものにするために私は生徒達が失敗しても安心して生るような環境作りを意識しつつ、生徒達の晴れ舞台であり、成長の場である相翼祭をこれからも支え続けたいと思います。今後とも同窓生の皆さまには母校と後輩たちの応援をよろしくお願い申し上げます。生徒会グループ 鬼丸 修一



全国大会出場(マンドリン部)



演奏会場前で(48期生と49期生)

毎年、横浜にある関内ホールにて開催される神奈川県高等学校音楽・管弦楽演奏会では、私立高校も含め、マンドリンオーケストラから、ギターアンサンブル、吹奏楽、器楽合奏と多くの部が参加し、日頃の練習の成果を披露します。その演奏会に私たちが毎年参加し、去年は教育長賞をいただくことができました。その結果、今年の8月に長崎で開催された第37回全国高等学校総合文化祭、長崎大会への出場を果たすことができました。

出場を決めた当時の1年生(49期生)と2年生(48期生)計26名は、ほとんどが県相に入学してから楽器を始めました。最初は楽器も読めなかった1年生に、2年生がから丁寧に教へ、1年生も2年生に追いつこうと、ひたすら練習に励む日々でした。また、合奏では2年生の一人が指揮棒を振り、各パートの生徒と意見をぶつけ合いながら曲を作り上げていきました。生徒たちが、自分のための演奏をより良くするために必死に努力し、演奏する姿は胸を打つものがあり、また顧問として彼らのことをとても誇らしく思います。

現在、マンドリン部は新入生(50期生)を19人迎え、総勢30名で活動しています。数年前までは女子ばかりの部活動でしたが、年々男子部員も増え、30名のうち8名は男子部員です。幸運にも学校外で演奏する機会も多くいただいております。そして、これからは地域に根ざした県相マンドリン部として精進していきたいと思っております。皆様方から今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

顧問 餅田 はるか

新体制スタート(吹奏楽部)

今年度より吹奏楽部顧問になりました。安西と申します。簡単に自己紹介をさせていただきます。私は吹奏楽部と軽音楽部に所属して音楽三昧の日々を送り、ふとしたことから数学の教員を目指し大学へ進学、その後奈良県の教員になり6年目の異動ということで、県相に転動して参りました。

さて、現在の吹奏楽部は私が現役の時とはだいぶ雰囲気が変わり、部活をとりまく環境はかなり良くなっているように感じます。昔は真夏でもクーラーのない音楽室(日当たり良好で、苦情対策のため窓を閉め切つて練習をしていましたからね。しかし、学校にある楽器の教とコンディションは、まだまだ厳しい状況にあります。中にはいつかあるのか分らない、化石のような楽器を使っているパートも。

指導で、部長からの厚い信頼を得ています。私はあまり穏やかではないので、いい運営ができていないように思います。

今年度の活動を振り返ってみると、まずは4月の定期演奏会。当日は、1,000人を超えるお客様を迎え、3年生は最後の舞台であるとともに1年間の活動の集大成、気持ちのこもった見事なステージを披露しました。

7月のコンクール、惜しくも銀賞という結果でしたが、自由曲に選んだ「歌劇マノン・レスコー」では、物語が目に浮かんでくるような、聴いてくる人に訴えかける演奏をすることができました。

9月は文化祭。今年のステージは、演出と演奏の質にこだわりました。まずCD等と異なる生演奏です。目で見ただけでは、まるで演奏しているか、その演出が映えるのはい

演奏があつたこと。基礎を大切に、整った演奏ができるように徹底的に練習を重ねていきました。秋は地域での依頼演奏会が盛りだくさん。嬉しいことと今年に演奏の機会が増え、時には2日連続かつ1日2本番など、多くの経験を積むことができました。

準備は大変でしたが、これからさらに活動の幅を広げ、地域に貢献していきたいと考えています。

11月1日の県相50周年記念式典では、2010年の30周年定期演奏会の際に委嘱した、「レバントの海戦」という曲を演奏しました。

指導は、嘱託の清水先輩と私の2人体制で行っています。清水先輩が現在の時からお世話になっている方で、穏やかな口調で生徒を音楽の世界へ引き込む



文化祭で演奏する吹奏楽部

出た。一方で、その演出が映えるのはい

演奏があつたこと。基礎を大切に、整った演奏ができるように徹底的に練習を重ねていきました。秋は地域での依頼演奏会が盛りだくさん。嬉しいことと今年に演奏の機会が増え、時には2日連続かつ1日2本番など、多くの経験を積むことができました。

準備は大変でしたが、これからさらに活動の幅を広げ、地域に貢献していきたいと考えています。

11月1日の県相50周年記念式典では、2010年の30周年定期演奏会の際に委嘱した、「レバントの海戦」という曲を演奏しました。

準備は大変でしたが、これからさらに活動の幅を広げ、地域に貢献していきたいと考えています。

準備は大変でしたが、これからさらに活動の幅を広げ、地域に貢献していきたいと考えています。

準備は大変でしたが、これからさらに活動の幅を広げ、地域に貢献していきたいと考えています。

準備は大変でしたが、これからさらに活動の幅を広げ、地域に貢献していきたいと考えています。



ねぶたカーニバルを盛り上げる吹奏楽部

ねぶたカーニバルを盛り上げる吹奏楽部

KSC50を終えて

1学年 林田 裕之

4月15日(月)から17日(水)まで、愛川ふれあいの村(愛甲郡愛川町半原)で「県相スタートキャンプ50(KSC50)」が行われました。県相スタートキャンプ(KSC)とは、入学間もない新入生を対象としたオリエンテーション合宿のことで、平成23年度に48期生から始まりました。本年度入学生は50期生なのでKSC「50」ということとなります。「人間力の向上」という大きな目標のもと、本校の校訓である「礼節・信義・根性」を実践する場と捉え、①自分が入学した県相という高校に対する理解を深める、②県相で送る3年間の高校生活を見通す、③人間関係をしっかりと構築する、ことを目指しました。

主な内容は、校訓理解、校歌練習、オリエンテーション、学習法講座、野外炊事、コミュニケーション講座、宮ヶ瀬ウォーキング、レクリエーションなどです。入学して1週間、隣に座る生徒との会話もままならない状況の中、気が進まない生徒も多かったようですが、校歌を大きな声で歌ったり、班で協力して焼きそばを作ったり、自由時間に語り合ったりして、互いの仲も深まり、県相での3年間を見通すことができたようです。新学期として、まずは順調な船出となりました。今後生徒一人一人が県相での生活をどのように謳歌してくれるのか期待を抱きながら帰途につきました。

そのスタートキャンプから半年以上が経過しました。生徒たちが現在送っている高校生活は、もしかしら当初の予想とは少し違っているかもしれませんが、あるいは困難に行く手を阻まれている生徒もいるかもしれません。そんな時こそ、キャンプで向上させることを目指した人間力を発揮してほしいと思っています。そして、ここは自分の居場所であり、そこには頼ることのできる人がいるということを忘れてはほしいと思っています。そんな象徴として、校歌が大きな声で歌われ、挨拶が大きな声で交わされる場であってほしいと思っています。

県相スタートキャンプの過去3回の実施を経て、現在校内では成果の検証と、今後の実施のあり方についての検討を行っています。そこで考えなければならないのが、いかにして「人間力」を向上させられるのか、ということです。巷で叫ばれているありきたりな人間力ではなく、次世代の社会のリーダーたる県相生が身に付けるべき「人間力」とは何か。そしてその向上を図るのにふさわしいキャンプのあり方とはどのようなものか。県相での3年間の出発点にふさわしいキャンプを目指して、職員全体で議論を重ねているところです。同窓生の皆様にも、母校の、そして後輩たちの今後に期待を寄せいただければ幸いです。



宿泊したロッジ



焼きそば、いただきます!

卒業生進路状況

前年度卒業生(第47期生)の進路状況一覧

\*国公立大受験者は大学校を含む \*一般推薦はAOを含む

Table with columns for school type (国公立大, 私立大, etc.), number of applicants, and number of students who passed or enrolled in various programs.





近況報告

平成24年度のハガキ等の通信欄から同窓生の近況を掲載しております。

創立50周年です。入学当時新しかった校舎、小さかった木々、埃っぽいグラウンド、米軍基地まで見た景色を懐かしく思い出します。

今年2週目を迎え、自分そして家族との時間を第一に生活しています。吉田先生の古典の授業が懐かしいです。

26年ぶりに神奈川県民に戻って10年、半余り。同窓会にも10年ぶりに出席し、何かとても懐かしい思いでした。

昨年是中国各地への出張は年間で3ヵ月程でした。よく相模原市にきています。元気です。

14期生の同期会、とても楽しかったですね。世話の方々、本当にどうもありがとうございました。

相模原市双葉に「おおよや整骨院」を開業しました。上鶴間から10kmの毎日の自転車通学のおかげで、今も足腰が元気でいます。

横浜で不動産会社に勤務しています。臨床心理士として、東日本大震災で被災した子ども達の心のケアに従事する予定です。

元気で。29期E組 葛原 征子(和田) 10期F組 宮崎 麻真

平成25年度上半期 部活動主な成績一覧

Table with columns: 部活名, 主な成績. Lists sports teams and their achievements in various categories like swimming, basketball, volleyball, etc.

\*\*\*\* 平成25年4月1日付 転出・転入教員一覧 \*\*\*\*

Table with columns: 氏名, 職(教科), 移動先, 氏名, 職(教科), 前任校. Lists teacher transfers and appointments.

活動維持費を納入していただいた方々

Large table listing donors for activity maintenance fees, including names, amounts, and dates.







### 第35回 定期総会の報告

#### 平成24年度事業報告

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

年月日	事業内容	会場	人数
平成24年 4月6日	母校入学式	県立相模原高等学校	1
4月11日	第1回役員会	杜のホール礼と	10
5月20日	県相同窓会第34回定期総会	県立相模原高等学校	19
8月6日	第2回役員会	杜のホール礼と	13
9月26日	第3回役員会	杜のホール礼と	8
10月6日	GO!GO!県相 シーズンIV(全5回)	エフエムさがみ	24
10月29日	第4回役員会	杜のホール礼と	13
11月7日	「県相同窓会新聞」第26号最終確認	ミウイはしもと	2
11月17日	第1回創立50周年記念事業実行委員会	県立相模原高等学校	7
12月1日	「県相同窓会」新聞第27号発行	同窓会へ送付	
平成25年 2月8日	第5回役員会	そば遊彩 大松	14
3月3日	母校第47回卒業式	県立相模原高等学校	1
3月23日	第2回創立50周年記念事業実行委員会	県立相模原高等学校	6

#### 平成24年度事業補助金等の報告

1. 学校関係
  - H24. 5.29 空手道部 関東大会出場祝い金 10,000円
  - H24. 5.29 空手道部 全国大会出場祝い金 10,000円
  - H24. 5.29 陸上競技部 関東大会出場祝い金 10,000円
  - H24. 6.20 陸上競技部 全国大会出場祝い金 10,000円
  - H24. 6.26 水泳部 関東大会出場祝い金 10,000円
  - H25. 1.23 スキー(個人) 全国大会出場祝い金 10,000円
  - H25. 3. 8 スキー 全国大会出場祝い金 10,000円
  - H25. 3. 8 スキー 国民体育大会出場祝い金 10,000円
2. クラス会・同窓会関係
  - H24. 5.28 9期生 3Aクラス会 7,990円
  - H24. 6.27 6期生 3Dクラス会 7,650円
  - H24. 7.18 37期生 学年同窓会 54,060円
  - H24.10.17 3期生 3Dクラス会 7,990円
  - H24.12. 6 14期生 学年同窓会 39,100円
  - H25. 3. 4 8期生 3Iクラス会 7,310円
3. その他
  - H25. 2.12 47期生への記念品(証書ファイル) 168,000円

#### 平成24年度収支決算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

科目	予算額	決算額	差異	備考
入会金	1,375,000	1,375,000	0	275名×5,000円
活動維持費	500,000	704,000	△ 204,000	
広告料	50,000	40,000	10,000	
寄付金	0	0	0	
受取利息	500	233	267	
雑収入	0	0	0	
前年度繰越金	544,050	544,050	0	
収入合計	2,469,550	2,663,283	△ 193,733	

科目	予算額	決算額	差異	備考
広報活動費	1,500,000	1,586,117	△ 86,117	
総会費	30,000	30,000	0	
事業活動費	150,000	124,100	25,900	クラス会等補助6件
記念品費	170,000	168,000	2,000	47期生入会記念品
渉外費	150,000	138,750	11,250	
会議費	10,000	6,278	3,722	
名簿HP管理費	100,000	69,044	30,956	
事務費	10,000	15,708	△ 5,708	
通信費	10,000	27,826	△ 17,826	
50周年事業積立金	200,000	200,000	0	
予備費	109,550	0	109,550	
雑費	30,000	0	30,000	
次期繰越金	0	297,460	△ 297,460	
支出合計	2,469,550	2,663,283	△ 193,733	

#### 部活動派遣基金特別会計平成24年度決算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,032,604	※事業活動費	80,000
利息	309	予備費	0
		次期繰越金	1,952,913
収入合計	2,032,913	支出合計	2,032,913

※部活動補助10,000円×8件

#### 50周年記念事業積立金特別会計平成24年度決算書

自平成24年4月1日 至平成25年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	2,975,397		0
一般会計より	200,000		0
利息	472	次期繰越金	3,175,869
収入合計	3,175,869	支出合計	3,175,869

#### 財産目録

普通預金	208,175
現金	89,285
郵便振替	0
別途積立金	①部活動派遣基金 1,952,913
	②50周年記念事業積立金 3,175,869

#### 部活動派遣基金特別会計平成25年度予算

自平成25年4月1日～平成26年3月31日

科目	予算額	前年度決算額	増減士	備考
利息収入	500	309	191	
前年度積立金	1,952,913	2,032,604	△ 79,691	
収入合計	1,953,413	2,032,913	△ 79,500	

科目	予算額	前年度決算額	増減士	備考
事業活動費	100,000	80,000	20,000	
予備費	0	0	0	
次期繰越金	1,853,413	1,952,913	△ 99,500	
支出合計	1,953,413	2,032,913	△ 79,500	

#### 50周年記念事業積立基金特別会計平成25年度予算

自平成25年4月1日～平成26年3月31日

科目	予算額	前年度決算額	増減士	備考
50周年積立金	3,175,869	2,975,397	200,472	
一般会計より	200,000	200,000	0	
利息収入	500	472	28	
収入合計	3,376,369	3,175,869	200,500	

科目	予算額	前年度決算額	増減士	備考
50周年事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次期繰越金	3,376,369	3,175,869	200,500	
支出合計	3,376,369	3,175,869	200,500	

#### 同窓会会則の変更

- 第3章役員会の第11条の2(特別)「顧問は之を会長の囑託とする。」を削除する。  
 (理由) 役員選出にあたり、選出方法を第10条に列挙する役員構成と同じように会員の互選とするため。  
 第4章会計の第15条(会費)を(活動費等)に変更する。  
 また、1.「本会運営の為、寄附を募ることができる。」を  
 1.「本会維持運営の為、活動費を募ることができる。」に変更する。  
 (理由) 会費と寄附を「活動維持費」として一本化したことにより、文言の修正をおこなったもの。  
 また、2.「本会の経費にあてる為、別に定める入会金を徴収する。(5,000円)」を

- 2.「本会の経費にあてる為、入会金を徴収する。(10,000円)」に変更する。  
 (理由) 入会金が5,000円から10,000円に変更になったため。  
 附則第3条 1.「本会は1回目のクラス会開催の際、10,000円を補助する。但し、卒業後1年以内とする。」を  
 1.「本会はクラス会等の開催の際、事務費として一人100円を補助する。」に変更する。  
 (理由) 「クラス会」にしたのは、学年同窓会やクラブOB会も対象となるため。  
 また、卒業後1年以内のクラス会開催を促すため、10,000円の補助を行ってきたが、財政状況を勘案し一律、一人100円としたもの。

平成24年度同窓会会計を以上のとおりご報告致します。  
平成25年3月31日

神奈川県立相模原高等学校同窓会  
 会長 佐藤 功岳 ㊟  
 副会長 山口 秀夫 ㊟  
 常任理事・会計 関根 雷枝 ㊟

#### 監査報告

平成24年4月1日より平成25年3月31日までの会計及び会計以外の会務の監査を行った結果、平成24年度同窓会決算は、会計帳簿の記載と合致し、会則に従って同窓会の財産及び収支の状況を正しく示していると認めます。  
 一方、役員会の会務遂行に関する不正の行為、又は、会則に違反する重大な事実は、認められませんでした。

平成25年4月8日

神奈川県立相模原高等学校同窓会  
 監査役 清水紳一郎 ㊟  
 監査役 出澤 秀二 ㊟

#### 平成25年度予算

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

科目	予算額	前年度予算額	増減士	備考
入会金	1,400,000	1,375,000	25,000	280名×5,000円
活動維持費	700,000	500,000	200,000	
広告料	50,000	50,000	0	
寄付金	0	0	0	
受取利息	500	500	0	
雑収入	0	0	0	
前年度繰越金	297,460	544,050	△ 246,590	
収入合計	2,447,960	2,469,550	△ 21,590	

科目	予算額	前年度予算額	増減士	備考
広報活動費	1,500,000	1,500,000	0	新聞・エフエムさがみ
総会費	30,000	30,000	0	
事業活動費	150,000	150,000	0	クラス会等通信費補助
記念品費	170,000	170,000	0	
渉外費	150,000	150,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	
名簿HP管理費	100,000	100,000	0	
事務費	10,000	10,000	0	
通信費	20,000	10,000	10,000	
周年事業積立金	200,000	200,000	0	
予備費	77,960	109,550	△ 31,590	
雑費	30,000	30,000	0	
次期繰越金	0	0	0	
支出合計	2,447,960	2,469,550	△ 21,590	

#### 平成24年・25年度役員

- 会長 佐藤 功岳 (1期)  
 副会長 山口 秀夫 (6期) 門倉 和博 (7期)  
 常任理事 座間美栄子 (1期) 関根 雷枝 (2期)  
 山本 悦子 (3期) 福田 文子 (8期)  
 細谷 孝司 (10期) 久保田淑恵 (12期)  
 理事 田所 節代 (1期) 鈴木トシ子 (2期)  
 遠藤 一美 (2期) 佐藤 剛生 (3期)  
 新倉 裕 (6期) 山崎 晴道 (8期)  
 米山 敦子 (9期) 小野 弘 (11期)  
 宮崎雄一郎 (19期) 赤間 二郎 (20期)  
 中島 信夫 (22期) 阿部 善博 (23期)  
 小林 倫明 (23期) 宮崎 誠生 (24期)  
 小田 貴久 (35期)  
 安西 雄紀 (38期・校内)  
 監査役 清水紳一郎 (1期) 出澤 秀二 (9期)  
 相談役 白井 憲二 (2期)





### 体操部 創部50周年会を開催!!

柳澤 敦子 (28期)

過日2012年12月1日(一)足早部50周年OB・OGの集い」が町田のラポール千寿閣にて執り行われました。

### ～お知らせ～

県同窓会を不合法行為として取り締まる場合があります。同窓会では個人情報を一切お返し致しません。また、同窓会活動以外に使用してはおりません。ご承知お祈りいたします。



### 第8期 3年I組クラス会

佐藤あゆ子 (同窓男)

2013年2月23日(土) 曜日・天気晴れ、町田の魚一丁にて1組の同窓会が行われた。

出席者は、男子7名・女子11名。担任の大久保先生は、風邪のため体調をくずされ、残念なことに欠席であった。



### 第14期 1年D組クラス会

小坂 亮浩

昨年九月に県同窓会後初めて学年の同窓会が開催され、その中で一年D組のメンバーが集まる場面があった。

たので、クラス会を実現したかったわけです。さて、体育の先生であった担任の岸澤先生は既に定年退職されておられ、クラス会への参加を快諾して頂いたのですが、教員になった同級生から数年前に脳内出血で生死をさまよったという話を聞き、居酒屋でのクラス会で大丈夫かと心配したのですが、その心配は見事に裏切られ、髪の色が白くなっただけで、毛髪の量も歩く姿も、三六年前と全く変わらず、また日本酒を何杯もお代わりされる姿を見て、一同心配しつゝ安心しました。

●同窓会を開こう!! 開催に際し同窓会では「通信費の補助」を行っております。また、「同窓会名簿の管理」も行っておりますので、お気軽にご連絡ください。

E-mail: kensouob@gmail.com



### 吹奏楽部OB・OG会

萩原 大 (25期)

過日2013年4月28日(日) 県同窓会吹奏楽部のOB・OG会が相模女子大学グリーンホール(旧グリーンホール相模大野)のラウンジコンフォートにて執り行われました。

白くお話しされ、若い世代が興味深く聞く姿も見られました。また、同世代の思い出話に加え、世帯の思い出話も盛り込まれ、会場内が沸いていました。

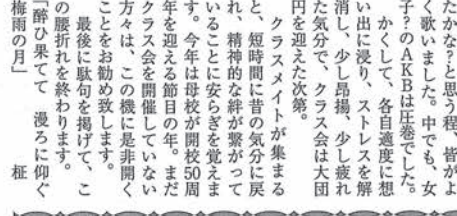


### 第9期 3年A組 クラス会(PARTⅥ)

安田 正樹

本年6月29日(土)午後5時半から、湘南足柄北口近くの和食店「酒彩舎」で第9期のクラス会が開催されました。

各人の近況報告では、仕事というよりは、家族の諸々の話が多に愛別離苦は、私たちの世代では切実感のあることですが、話している当人が、既に気持ちの整理が、以前よりは明るく感じられたのは、嬉しいことでした。



### 第4期 3年C組クラス会

廣田 満

平成24年10月20日(土)の場所「同期佐藤氏店主の相模原駅前「寿司屋」にて7回目のクラス会が開催されました。

会は、開催年をわかりやすく4年毎のオリンピックの年に合わせて行うこととで今回が7回目となりました。今回に限り幹事私のチョンボで2008年北京を見送ってしまった。今年で8年ぶりとなりました。

過も会が進むにつれ高校時代の面影がよみがえり、懐かしさが溢れてきました。様々な話が交錯する中、当時の話題といえば、修学旅行での九州宮崎交通のバスガイドさん、個性豊かなO先生の英語授業など共通の話題となり話し尽きませんでした。